

授業科目 NO. 706 公衆衛生看護学方法論Ⅲ (学校・産業・健康危機管理)

Public Health Nursing III
(School, Industry and Health Risk Management)

授 業 の 形 態 : 講義
単位数 (時間数): 3 単位 (45 時間)
開講年次・学期: 3 年次・後期
必修・選択の別: 選択・保健師選択コース必修
キ ー ワ ー ド : 学校保健・産業保健・災害看護

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

学校保健・産業保健および災害における公衆衛生看護の意義、法規・制度、役割、動向などを理解する。公衆衛生看護の場としてのそれぞれの専門性を理解したうえで、対象の健康の保持増進のための保健活動について理解を深める。さらに、学校保健・産業保健および災害における他機関・多職種との連携の必要性や養護教諭・産業保健師、災害における保健師の役割について理解することを目標とする。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 学校保健や産業保健、災害看護における法規・制度、動向について説明できる。
(①②③)
- (2) 産業保健活動全般について理解し、公衆衛生学的意義および産業保健の場における公衆衛生看護活動や産業保健師の役割について説明できる。(②③)
- (3) 学校保健活動や産業保健活動における専門性を理解し、地域保健や他機関・他職種との連携の必要性について説明できる。(②③)
- (4) 集団を対象とした保健活動計画が立案できる。(②③)
- (5) 学校保健活動全般について理解し、公衆衛生学的意義および学校保健の場における公衆衛生看護活動や養護教諭の役割について説明できる。(①②③)
- (6) 災害時における公衆衛生活動や保健師の役割、公衆衛生看護活動における他機関・他職種との連携の必要性について説明できる。(①②③)
- (7) 災害を想定した平常時の対策を理解し、地域住民や関係機関との連携による対策の必要性について説明できる。(①②③)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	60%
実習成績	%
レポート	40%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教 育 担 当 者

科目責任者：寺西 敬子

准 教 授	寺西 敬子 (公衆衛生看護学)
助 教	橋本 憲祐 (公衆衛生看護学)
養 護 教 諭	北川 純子 (学生保健室)
非常勤講師	中島 素子 (衛生学)
非常勤講師	亀田 真紀 (石川県産業保健総合支援センター)

6 教育担当者の実務経験

教育担当者は公衆衛生もしくは公衆衛生看護活動の実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院 最新版
- 2) 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版

8 推 薦 参 考 書

- 1) 公衆衛生看護学.jp インターメディカル 最新版
- 2) 新版 保健師業務要覧 日本看護協会出版会 最新版
- 3) 産業看護学 河野啓子 日本看護協会出版会 最新版

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学習・事後学習として計 180 分程度必要です。

- 2) 公衆衛生看護学概論で学んだ「学校保健」「産業保健」を復習して、受講してください。
- 3) シラバスに表示してある各回の講義内容について、教科書の「産業保健」「学校保健」「健康危機管理」の該当箇所を読み、理解できない内容を質問できるように準備しておくこと。
- 4) 教科書「国民衛生の動向」には、最新の調査結果が掲載されています。あらかじめ「労働衛生」および「学校保健」のページを読み、それぞれの健康課題について検討できるように準備しておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出された課題については、講義中にコメントする。
- 2) 試験結果については、採点後に開示する。

11 履修上の注意事項

- 1) 講義で配布する資料の予備は保管しないので、欠席者は出席者からコピーしてもらいます。
- 2) 配布資料は1つにファイルし、毎回持参してください。
- 3) グループワーク課題では積極的に取り組んで下さい。

12 オフィスアワー等

講義中の質問は随時可能ですが、終了後の外部講師への質問は科目責任者を通じて連絡します。

寺西：k-tera@kanazawa-med.ac.jp

橋本：k-hsmt@kanazawa-med.ac.jp

第3学年

公衆衛生看護学方法論Ⅱ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	1月8日(金)	3	講義	産業保健1 産業保健の理念・目的・歴史		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	2	1月8日(金)	4	講義	産業保健2 産業保健における近年の動向と課題		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	3	1月12日(火)	3	講義	産業保健3 産業保健活動の実際(職場巡回・リスクアセスメント)		公衆衛生看護学	亀田非常勤講師, 寺西准教授
後	4	1月12日(火)	4	講義	産業保健4 産業保健活動の実際(産業保健総合支援センター、地域産保センター、両立支援)		公衆衛生看護学	亀田非常勤講師, 寺西准教授
後	5	1月13日(水)	1	講義	産業保健5 産業保健活動の実際(健康診断・健康相談・保健指導・健康教育・健康づくり)		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	6	1月13日(水)	2	講義	産業保健6 産業保健活動の実際(メンタルヘルス・救急処置・活動導入時の実際)		公衆衛生看護学	寺西准教授
後	7	1月15日(金)	3	演習	産業保健7 産業保健活動の展開(1) 職場における健康教育	グループワーク	公衆衛生看護学	寺西准教授
後	8	1月15日(金)	4	演習	産業保健8 産業保健活動の展開(2) 職場における健康教育	グループワーク	公衆衛生看護学	寺西准教授
後	9	1月19日(火)	3	演習	産業保健9 産業保健活動の展開(3) 職場における健康教育	グループワーク	公衆衛生看護学	寺西准教授
後	10	1月19日(火)	4	演習	産業保健10 産業保健活動の展開(4) 職場における健康教育	グループワーク 発表・レポート	公衆衛生看護学	寺西准教授
後	11	1月22日(金)	3	講義	学校保健1 学校保健の目的・特徴・歴史、制度とシステム		公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	12	1月22日(金)	4	講義	学校保健2 学校安全と危機管理		公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	13	1月26日(火)	3	講義	学校保健3 学校保健の現状と健康課題		学生保健室	北川養護教諭
後	14	1月26日(火)	4	講義	学校保健4 学校保健の現状と健康課題		学生保健室	北川養護教諭
後	15	1月29日(金)	3	講義	学校保健5 学校安全と危機管理(実際例)		公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	16	1月29日(金)	4	演習	学校保健6 学校保健活動の展開(1)健康教育	グループワーク	公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	17	2月1日(月)	3	演習	学校保健7 学校保健活動の展開(2)健康教育	グループワーク	公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	18	2月1日(月)	4	演習	学校保健8 学校保健活動の展開(4)健康教育	グループワーク	公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	19	2月2日(火)	3	演習	学校保健9 学校保健活動の展開(5)健康教育	グループワーク レポート	公衆衛生看護学	中島非常勤講師
後	20	2月2日(火)	4	講義	健康危機管理とリスクマネジメント		公衆衛生看護学	橋本助教
後	21	2月9日(火)	3	講義	災害看護1 災害と保健活動の目的・災害時の保健活動の制度とシステム		公衆衛生看護学	橋本助教
後	22	2月9日(火)	4	講義	災害看護2 各災害サイクルにおける災害対策と保健師活動		公衆衛生看護学	橋本助教
後	23(0.5)	2月9日(火)	5	講義	災害看護3 災害対策のまとめ		公衆衛生看護学	橋本助教
後		2月16日(火)	3	試験	定期試験		公衆衛生看護学	寺西准教授